



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール10周年

No.543 年度末号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年3月26日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



春また訪れ、そして花は咲く

校長 武山 朋子

24日の卒業式では、81名の卒業生が笑顔で永田台小学校を巣立っていきました。堂々と証書を受け取る姿を今年保護者の方にもご覧いただくことができ、さらに歌声も、呼びかけに代わる子どものメッセージも、お聞きいただくことができました。写真撮影の間も、花道を送られて歩く時も、今年の卒業生は皆さわやかな笑顔で、その姿からは「やり切った」というすがすがしさも感じられるほどでした。

例年がない様々な困難を抱えた1年でしたが、臨時休業で我慢を重ねた春、学校再開と分散登校で喜びをかみしめた夏、様々な工夫で大きな行事に取り組んだ秋、各学年・学級らしい生活・総合の取組が充実した冬、とそれぞれの季節ごとに子どもたちは、学校生活の中で学び、人とつながり、確かな力をつけてきました。そのことを、最後の3月になって実施できた授業参観でも多くの方に感じていただけたことを、アンケート結果からも知ることができたのは私たちの喜びです。

さらに子どもたちは永田台の地でしっかりと根を張り、これまで以上に自分たちの周りの人（身近な友達、他学年の友達、幼保の園児、近くの商店の方、地域の方々等々様々・・・）とのつながりを大切に感じてきました。皆様のおかげで、支えられるだけでなく支える側になろうとする子どもが、このまちに育っています。この1年、たくさんのご支援を本当にありがとうございました。

感謝

副校長 中村 宏

2年前の始業式、初めて子どもたちと出会ったときのことを今でも鮮明に覚えています。この日は快晴で、桜が舞い散るあたたかな1日でした。子どもたちの屈託のない笑顔や元気のよい挨拶からエネルギーをもらい、着任したばかりの私の不安は一瞬にして払拭され、期待と楽しみに変わりました。

先日行われた卒業式、この日も2年前と同じような快晴で、桜が美しく咲き誇り、あたたかな1日でした。卒業生の立派で堂々とした姿を見ながら、その成長を嬉しくそして誇らしく感じると同時に、今年度での異動が決まっている私にとっては、切ない気持ちが入り交じり、忘れられない1日となりました。

卒業生の「門出のことば」の中に『未来を創るのは自分たちだと信じて…』という一節がありました。今年度、コロナ禍というピンチを逆にチャンスに変え、日々の授業や各行事を通して、一回りも二回りも成長していく姿を目の当たりにし、私は子どもたちの無限の可能性を感じずにはいられません。卒業生はもちろん、永田台小学校の子どもたちであれば、『明るい未来を創ることができる』と信じています。

保護者や地域の皆様、2年間、様々な場面でご理解ご協力そして励ましの言葉をいただき、ありがとうございました。特にこの1年間、コロナ禍でありながら前向きに過ごすことができたのは、皆様の支えがあったからこそだと思っています。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、永田台小にかかわる全ての人に心からエールを送り、別れの挨拶とさせていただきます。「フレー！ フレー！ 永田台！！！」

